



住吉小だより

<http://www.fuchu12s.fuchu-tokyo.ed.jp/>

電話 042-361-6319

FAX 042-334-0873

府中市立住吉小学校
校長 木下 和紀
令和6年10月31日
令和6年度 第8号



チーム住吉 ○○合い

副校長 進藤 智洋

本校では、「未来へつなぐ 2020 レガシー」の一環として、障害者についての関心・理解を深め、お互いを尊重し合う「共生社会」の実現に向けた「認め合い」、「助け合い」、「支え合い」などの心と態度を育成することを大切にしています。

特に、4年生の総合的な学習の時間では、「福祉」をテーマに学習を進め、障害のある方との交流を図り、生活の様子やスポーツを実際に体験することで、障害のある人やそれを支える人への理解を深めていく活動を取り入れています。

今年度は学びの機会を多くいただき、特に10月は様々な体験をすることができました。

第1に、東京都教育委員会の「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」で、「車いすバスケットボール」の特別授業を行う機会に恵まれました。東京パラリンピックにおいて銀メダルの獲得に貢献した藤澤 潔（ふじさわ きよし）選手からご指導いただきました。車いすをたくさん用意していただき、充実した体験ができました。



第2に、「ボッチャ」の体験です。3月のスクールコミュニティ主催の体験イベントでもご指導いただいた本校 PTA 会長の田中さんから教えていただきました。普段の生活で車椅子を使用されている社会人の方もご来校いただき、ともに体験させていただきました。（高校時代にチーム戦で日本一経験がある方です。）



第3に、来年開催の東京 2025 デフリンピックに向けた学校訪問ということで、講師として市聴覚障害者協会の方、デフバドミントン選手の方々、手話通訳者の方が来校されました。第一部は、聴覚障害や手話に関する講義をしていただきました。第二部は、デフアスリートによる講演、デフスポーツ（デフバドミントン）の体験を実施しました。スポーツにおけるする・みる・支えるの大切さを実感できました。



子供たちは様々な障害者スポーツに関する講義や体験を通じて、障害のある方々の日常生活やスポーツに対する情熱、そしてそれを支えるコミュニティの大切さを学びました。障害の有無にかかわらず、スポーツを楽しむことで心をつなげることができることを実感し、互いに支え合う社会の重要性を感じることができました。この体験や経験が、子供たちの心に響いてくれたことを願っています。学校全体、社会全体に「○○合いの輪」を広げていってほしいです。

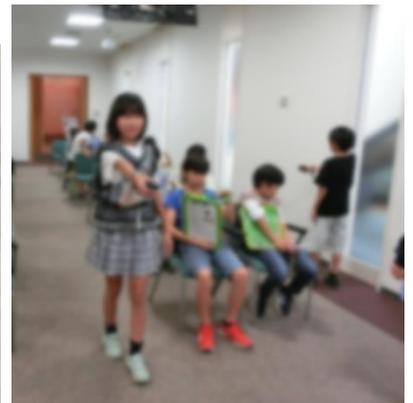
【3年生 消防団学習】

10月17日(木)1・2時間目に消防団学習を行いました。クラスごと3つのグループに分かれて消火器訓練、消防車見学、消防団の衣服について学習しました。消火器訓練では消火器の使い方を教わりながら実際に水を当てる訓練をしました。消防車見学では消防車の設備について講話していただいた後、消防車に乗る貴重な体験をすることができました。また消防団の衣服体験でも実際に消火する際に着用するヘルメット、上着を着せてもらいました。今回の消防団の学習を通して子供たちは火事から身を守る様々な工夫について理解を深めることができました。



【5年生 社会科見学】

社会科見学でNTT技術資料館とキューピーマヨテラスに行ってきました。NTTでは情報伝達技術の歴史について体験を通して学びました。最新技術の紹介では手の感触だけで進む方向を教えてくれる機械を一人ずつ体験しました。マヨテラスでは、マヨネーズの歴史や作られ方を学びました。マヨネーズ作りにかかる熱い思いや、驚くような工夫を紹介してくださいました。見学の最後には5種類のマヨネーズの食べ比べもあり、マヨネーズが苦手な子もおいしそうにいただいていたいました。



花を育てよう事業について

府中PFSの方々にご来校いただき、1年生はチューリップ、2年生は水仙の球根をいただき、植え方や育て方を教えていただきました。

さらに1年生は、鉢植えに土を入れたり球根を植えたりする作業を一緒にしていただきました。

一人一人が大切に育て、春に花いっぱいになるのが楽しみです。



【6年生 日光移動教室】

10月9日（水）から10月11日（金）まで、2泊3日の行程で日光移動教室に行ってきました。5年生で行ったわくわく自然教室の経験を生かし、充実した3日間を過ごすことができました。

1日目

<日光東照宮> 迫力満点な陽明門、苦勞して上った徳川家康のお墓、音の響きに耳を澄ました鳴き龍。社会科で学習した内容を実際に見て、聞いて、体験することができました。<梅屋敷旅館との出会い> 素敵な宿、優しく明るい女将さん、愛くるしい豆女将。入館したときには、宿の魅力に心が温かくなりました。<ふくべ細工体験> 栃木県の伝統工芸であるふくべ細工。筆と絵の具を使って、一人一人が思い思いの作品を完成させました。

2日目

<戦場ヶ原ハイキング> 雄大な男体山、澄んだ川のせせらぎ、仲間と一緒にチェックポイントをクリアして進んだアクティビティ。ぬかるむ道を1時間半以上歩く中で、大変だと感じることもありました。日光の豊かな自然を心と体で感じることができました。<お化け屋敷> 梅屋敷旅館さんの中にあるお化け屋敷を体験しました。グループで勇気を振り絞って参加してミッションをクリアしました。恐怖に打ち勝つ強い心を手に入れ、一つ大人になりました。

3日目

<富弘美術館> 富弘さんの美しい絵と心に響く詩に引き込まれました。一つ一つの作品に目を向けながら、自分のこれまでの生活や友達との関係について振り返ったり、これからについて考えたりする時間となりました。<大谷資料館> 地下30mの少しひんやりする巨大空間で江戸時代に行われていた大谷石の地下採掘場跡を見学しました。

一人一人が行動班・生活班の中で役割をもち、みんなのために活躍しようと過ごした3日間となりました。「日光友情みんなでイエーイ」のスローガンのもと仲間と声を掛け合い、協力してくれる人たちには感謝の言葉を伝え、立派な姿をたくさんみることができました。卒業に向けて、一つ一つ取り組んで、成長してってもらいたいと思います。

